
天剣と言われた男

天剣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天剣と言われた男

【Nコード】

N1211Y

【作者名】

天剣

【あらすじ】

神に誤って殺された少年が真つ白空間で会った神様《幼女》に能力もらってネギま！の世界へGOする話。

第一話

「これなんて状況？」

目覚めてみれば真つ白な場所と土下座している少女がいた。

「申し訳ありませんでしたあー!!」

「しかも流暢に日本語を話したと!？」

これには驚いた。

少女如きが流暢に、しかも日本語を話すとは誰が思うだろうか？

「とりあえず、顔を上げて立ち上がれ少女。これじゃあ俺がお前に何かしたと勘違いされるだろうが」

「は、はい、すみません…」

そう言つて顔を上げる少女。

……うん、見紛うことなき本物の少女だ。

「それで少女、ここはどこだ？」

「ここはあの世とこの世の狭間です」

「……………は？」

あの世とこの世のはざま……いやいや——

「いやいやいやいや、何そのテンプレな発言!」

「事実ですよ?だって私が間違っただけで殺してしまっ……あ……」

「ほほう……」

今コイツ何テ言ッタ?

「聞き間違イカ? 幼女? 才前ノ言ッタコトガホントウナラスコシO
H A N A S H I シヨウジャナイカ?」

「ヒィ……」

「サア、ジンモ……ゴウモ……ナンデモイイカラハジメルトシヨウ
……」

「い、イヤアアアアアアアアアアアアアアアアア!……!」

↓折檻&幼女の説明↓

「つまり? お前は神様と呼ばれる存在で、自分がミスをして殺して
しまったから、その責任で俺を転生させてくれると?」

「はい、そうです……グスッ……」

「なるほどな」

それって、まんまテンプレモノじゃね？

二次小説なんかで、よく見るけど自分が体験するとは思わなかったな。

「それで転生先は、いったいどこだ？」

「えーっとですね。転生先は『魔法先生ネギま！』の平行世界ですね」

ありがちな。

「二次小説でよくある能力なんかも貰えますよ。で？どうするんですか？転生しますか？」

「また生きられるんだ。だったら転生してやるよ」

「わかりました。あつ、ちなみに能力は10個までです」

10個までって、何気に多いな。
能力ねえ…

……そうだ、あれにしよう！

「じゃあ、1個目は肉体の限界を無くして全盛期の状態で不老にすること。

2個目は状態異常無効化能力。

3個目は精神強化。

4個目は鋼殻のレギオスの武芸者の能力で、剋力は女王と同じくらいにしてオーロラ粒子が無くても剋が使えるように。

5個目は天剣をくれ。設定は刀と鋼系の二つで、女王の全力の剋に

も耐えられるのを復元して使えるように。

6 個目はサイハーデン刀争術に関する知識とそれを使う才能。

7 個目は剣技に関する知識とそれを使う才能。

8 個目は武器を使う才能。

9 個目はレイフォンの戦闘経験をくれ。

で、肝心の10 個目は俺が死んで悲しんでる家族を幸せにしてくれ」

俺の貰う能力では二個目と九個目のはかなり重要だ。

2 個目は最悪殺した場合精神的に病んだりしないようにするためだ。

9 個目のはいくら才能があっても経験がなければ意味がない。

とはいえ所詮他人の経験のためそこから派生していくつもりだ。

「最後のはまた珍しいですね？……わかりました、あなたの家族は未来永劫幸せに暮らせるようにしておきます。………それにしても普通なら王の財宝とか無限の剣製とか、そっち系だと思ったんですけど……」

「魔法のある世界に転生するのに同じような力より、まったく別の力を持った方が面白いだろ？」

F a t e系は度が過ぎてるからな。

その分レギオスの方は力加減とか簡単そうだし…

「後、個人的にあの作品が好きだから」

原作もいいし、アニメもかつこ良かった。

「そうですか…わかりました。この10 個の能力でいいですか？」

幼女が確認するかのように言ってきた。

「おう！」

「では、能力の設定を完了したので転生させます。では、よい戦場を」

幼女がそう言った瞬間、視界が暗転し俺は意識を失った。
だが最後に言わせてくれ。

なぜにデルボネ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1211y/>

天剣と言われた男

2011年11月1日13時06分発行